



京都国立近代美術館

友の会ニュース

2008 JULY NO. 2

「没後10年 下村良之介展」がはじまります。

当館では、すでに27点の作品を収蔵し、その画業を高く評価している「日本画家」下村良之介（1923-1998）の没後10年を記念して、大規模な回顧展を開催いたします。会期は、7月29日（火）から8月31日（日）です。



下村良之介《水辺屏風》1972（昭和47）年

下村良之介の生涯は、それまでの花鳥風月をテーマに、伝統的な「日本画」表現に反旗を翻して、「日本画」革新運動の中心的な役割を果たし活発な活動を展開した、パンリアル美術協会とともにありました。そこで、本展覧会とも連動するように、4階のコレクション・ギャラリーでも、当館が所蔵するパンリアルの作家たちの作品など52点を集めて、「パンリアルと戦後美術」の小企画展示も開催し、美術館全体が、あたらしき「日本画」の創造に燃えた雰囲気包まれます。そして今回も、「友の会」会員の方々のために、この展覧会について、本展覧会を担当する当館の山野英嗣主任研究員が、「知られざる下村良之介とパンリアル」について、お話しいたします。当日は、友の会会員の皆様限定で、これまで未公開の資料や作品を直接お見せしながらの、貴重な場といたします。

〈下村良之介展 解説会〉

- ・日時：8月22日（金）午後2時から午後5時
- ・場所：京都国立近代美術館 1階・講演室
- ・定員：50名（要申込・先着順）
- ・参加費：無料（友の会 会員と同伴者1名まで）
- ・申込〆切：8月15日（金）まで
- ・申込先：京都国立近代美術館 庶務課庶務係
Tel. 075-761-4111(代表)
(平日午前10時から午後5時まで)

※解説会終了後、会場に入られる場合、2回目以降の方と同伴者は別途入館料が必要です。



下村良之介《還暦の自画像》1983（昭和58）年



◎さらに、前号の「ニュース」でもお知らせした新企画、「友の会」会員の方々とともに展覧会をつくりあげようという試みについてのご案内です。

来年は、京都新聞社の創刊130年の記念の年にあたります。そして当館では、京都新聞社と共催して、平成21年5月26日（火）から7月5日（日）まで、「京都学 前衛都市・モダニズムの京都」展（仮称）を計画しています。まだずっと先の展覧会ですが、これから京都新聞社とも企画を練り、展覧会開催まで「友の会」会員の方々と、その気運を盛り上げてゆこうと思っています。

そのために、前号「友の会ニュース 5月号 第1号」でもお知らせしました展覧会ゆかりの地をめぐる見学会を、この展覧会の出発点となる岡崎界限からはじめます。具体的には、9月発行の次号の「友の会ニュース」からさらに詳しくご紹介して参ります。

◎さて、すでにご存知のことと思いますが、当館は岡崎界限の美術活動のさらなる活性化をはかるため、細見美術館との「友の会」事業の連携を深めて参りました。これまでも『会報』で、細見美術館で開催される催しのご案内をご紹介し、ご参加いただいた当館会員の方々も多くおられることと思います。

今回は、「第27回アートキューブ・レクチャー」として、9月10日（水）に下記のとおり、「インドネシアの更紗の歴史とその民族精神」と題して、戸津正勝氏（国士舘大学政経学部教授）が講演されます。細見美術館では、8月1日（金）から9月15日（月・祝）まで、「インドネシア更紗のすべて—伝統と融合の芸術—」が開催されますが、戸津氏はこの展覧会の監修／ご所蔵者でもあります。当館「友の会」会員のご参加は無料で、席も優先確保されますので、ご案内申し上げます。

- ・会場：京都市勧業館（みやこめっせ） 地下1階第2・3会議室
- ・参加費：一般は500円ですが、友の会会員は無料。
- ・定員：40名。友の会会員は席を優先確保（ご同伴者は2名様まで。会員以外の同伴者は参加費が必要。）
- ・特典：講演会当日、開催中の展覧会を団体料金にてご覧いただけます。
- ・事前申し込み制ですので、お申し込み・お問い合わせは細見美術館まで。

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 Tel. 075-752-5555 Fax. 075-752-5955

<http://www.emuseum.or.jp>

e-mail event@emuseum.or.jp

～お知らせ～

今年10月から、友の会会員の種類が一部変わります。詳しくは、同封の「友の会会員の種類の変更についてのお知らせ」をご覧ください。

連絡先：京都国立近代美術館 庶務課庶務係

Tel. 075-761-4111(代表)

(ご連絡は平日午前10時から午後5時まで)